

令和 8 年度 北区立浮間中学校 学校経営計画

校長 齋藤 真弓

人間尊重の精神を基調として、これからの日本や国際社会において尊敬と信頼が得られ、豊かな社会の創造者および自立した個人の育成を目指すとともに、「北区教育ビジョン2024」を踏まえ、教育目標を設定する。

育てたい生徒像 (教育目標)

- 1 自ら考え、正しく判断し、主体的に行動できる生徒 (R8 度 重点目標)
- 2 感性豊かで思いやりのある礼儀正しい生徒
- 3 心身ともに健康な生徒

1 目指す学校像

- 1 子どもが安心して学びに向かえる学校
- 2 保護者、地域に愛される学校
- 3 教職員が組織として協働し、高めあえる学校

目指す教師像

- 1 学び続ける教師
- 2 人権感覚を兼ね備えた教師
- 3 教育公務員としての自覚をもった教師

2 中期的目標と方策 (5 年計画の 2 年目)

- 1 安全な学校 (身体的安全)・安全な教室 (心理的安全) づくり
安全教育、防災教育、人権教育、道徳授業等を充実する
学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動等を通じた集団帰属意識の向上を図る
- 2 確かな学力を保証する
朝読書の継続で落ち着いた教育環境を維持する
研修委員会が中心となり授業改善に向けた研修会を行う
教員に外部の研修に積極的に参加する
適正な評価について、議論する機会を設ける
- 3 不登校支援の充実を図る
学校とつながっていない、社会とつながっていない家庭数 0 件を維持する
- 4 地域資源を活用したキャリア教育の充実を図る
浮間図書館、ティーンズセンター、PTA、スクールコーディネーター、学校評議員などの力を借りてキャリア教育を行う
- 5 通常学級の生徒と 8 組 (特別支援学級) の生徒がともに学ぶ

学年だよりの活用、委員会活動、生徒会活動、教員の授業参観などを通し、学年は 1 組から 8 組までが一つの学年という意識をもつ

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

- 1 「自然とあいさつのできる浮中生」を目指す
- 2 ① 学校全体で「朝読書」に取組み、落ち着いた教育環境で一日を始める
- 2 ② 「授業改善」に取組続け、基礎学力の定着を図る
- 3, 4 「キャリア教育」「生き方教育」を通し、主体性を育む
- 5 各学年 8 組（特別支援学級）までが学年という意識をもち、全教職員で全生徒を育てる

(2) 重点目標と方策

自ら考え、正しく判断し、主体的に行動できる生徒の育成

キャリア教育、防災教育をはじめとする安全教育を通して育む。